

ご協力を 古い写真を 探しています

都市計画課では、市制50周年記念事業の一環として「まちづくり50年史」を編集中です。その中で、過去の市内の街並みや風景を撮影した概ね40年前（1967年以前）の写真

や風景など掲載することを考えています。市民の方のご家庭で古い写真がありましたら都市計画課まで一報下さい。お名前・撮影年月・場所など確認させていただき、後日連絡します。

募集期間 11月30日まで
募集写真 市内の街並みや風景を撮影した概ね40年前（1967年以前）の写真
借用期間 平成20年3月31日まで

問都市計画課 ☎709・0564

国民年金保険料の一部納付制度を受けられた皆さんへ

国民年金の免除制度（全額免除・4分の1納付・半額納付・4分の3納付）を申請して、4分の1納付・半額納付・4分の3納付の「一部納付」が承認された場合は、一部納付保険料を納めることが必要になります。改めて納付書が届きますので、そちらをご利用下さい。

一部納付保険料を納めることによって、「一部納付」が承認された期間が、老齢・障害・遺族基礎年金の受給資格期間に含まれ、老齢基礎年金額にも反映されます。万一、一部納付保険料が納付されなかった場合は未納付期間扱いになり、受給資格期間・年金額に反映されず、追納もすることになりますのでご注意ください。

町田市国保年金課 ☎724・2127

八王子社会保険事務所 ☎042・626・3511

環境にやさしい 家してみませんか 住宅用太陽光発電 システム 設置補助金申請

市では、自然エネルギーの有効利用を図り、環境負荷の低減をすすめるために、新たに住宅用太陽光発電システムを設置する方に対し、補助金を交付する予定です。

補助金の交付額 3万円に太陽電池モジュールの最大出力を乗じて得た額となりますが、20万円を限度額とします。

補助金交付申請書の受付は境川クリーンセンター内環境保全課にて行っています。対象者 市内在住（予定含む）で、市内に住宅等を所有し原則として市税を完納している方。対象となるシステム 太陽電池出力が10キロワット未満の太陽光発電システムで、市が別に定める技術仕様書に適合し、未使用のもの。申請書及び概要パンフレットは、環境保全課で配布しています。また、町田市ホームページからもダウンロードができます。環境保全課 ☎724・2711



(町田市薬剤師会)

「薬物乱用防止」 について

今回は皆さんの身近に溢れている薬物についてお話しします。まず、「くすり（医薬品）」と薬物のちがいはなにかといえます。ヒトや動物の病気の治療、予防、診断の目的に用いる薬品を「薬（医薬品）」と呼びます。「薬物」は「くすり」や「化粧品」、「農・工業用薬品」等やその原料で動物・鉱物由来物質、科学合成物質等で生体に何らかの作用をする物質を言います。では、薬物乱用とは何でしょうか。《薬物乱用とは指示された使用目的、使用量、使用方法以外で使用することを言います。》例えば、胃薬や風邪薬を普通は2錠飲むところを3錠飲むたり、市販の咳止めシロップを一本全部飲んでしまったりすることも乱用といえます。ここで

は乱用することで精神や身体に重大な障がいや起こすため法律で厳しく規制されている薬物で製造・輸入未承認薬物（研究用は除く）や麻薬、向精神薬、覚せい剤、大麻、有機溶剤や脱法ドラッグと呼ばれるものについてお話しします。このような薬物の乱用は脳の中枢神経に作用し快感（多幸感）、幻覚、妄想（夢を見ている状態）、錯乱、虚脱、感覚異常、フラッシュバックなどの精神異常を起こす依存性（習慣性）を持つ精神障害がだけでなく、心臓・肝臓・腎臓などの臓器障がい、脳萎縮、生殖機能障がい、遺伝子障がいなど肉

体への障がいも起こします。では、法で規制されている大変危険な薬物について述べていきます。麻薬（コカイン・アヘンを含む）は、ガンの痛み止めや咳止め、下痢止め、麻酔に使用され、向精神薬等は、精神安定、睡眠導入、鎮痛、神経刺激（興奮）に使用されます。これらの薬は自身

が医師、薬剤師の指示通り使用すれば問題はありせん。しかし、他の人に譲ったり、違つ目的で使用した場合は「麻薬及び向精神薬取締法」及び「あへん取締法」により10年以下の懲役刑となります。また、医療では使用されない合成麻薬で盛り場などで密売されているLSDやMDMA（エクスタシー）、MDA（ラブラッグ）とマジックマッシュルームも同じ様に処罰されます。その他に、わが国では製造・使用を認められていない麻薬の「ヘロイン」は最高で無期懲役となります。

覚せい剤は、医療現場では重篤な睡眠障がいや統合失調症の遅鈍症、手術後の虚脱回復、インスリンショックなどに使用され、医療機関で厳重に管理され普通には入手できません。しかし、覚せい剤はダイエツト効果や眠気防止、疲労回復に効くと言われ、エス、スピード、シャブなどと呼ばれて闇の世界で密売買われています。また、覚せい剤の製造原料になる薬物は、咳止めやパーキンソン病に用いられていますが、このような薬は医療機関や保険薬局で厳重に管理されています。覚せい剤・覚せい剤原料は「覚せい剤取締法」により不法に製造・輸入・所持・使用すると最高で無期懲役となります。

大麻は麻の1年草である大麻草の乾燥葉（マリファナ）、若芽や樹脂を固めた大麻樹脂（ハシッシュ）、花穂部と樹脂を固めたガンジャ、花穂を固めたブツダステイク、成分を抽出したハシッシュオイルなどを言い、大麻草を栽培したり所持や使用すると「大麻取締法」により10年以下の懲役刑となります。甘い誘惑に乘らず断る勇気を持ちましょう。

原料に使用されるシンナーやトルエンなどの有機溶媒は脂肪を溶かす力が強いので体の各臓器に障がいを与え、特に大脳には回復不能な障がいや起こします。また、過度の吸引により呼吸麻痺を起こし死亡することもあります。これらを不正に所持したり吸入したりすると「毒物及び劇物取締法」により2年以下の懲役または、5万円以下の罰金刑になります。

脱法ドラッグ（7成分：2C、MBDB、5-MeO-MIPT、3CPP、5-MeO-AMT、TMA-2、2C-T2）は合法ドラッグとも呼ばれ商品名は色々ですがインターネットや盛り場などで健康食品やアロマ油、芳香剤等として売られています。また、ベヨートと呼ばれる麻薬成分を含むサボテンもあります。やはりこれらのものも幻覚や多幸感などの作用があり死亡事故やレイプ犯罪等の原因となっています。

脱法ドラッグは知事指定薬物として製造販売使用禁止となっており、違反すると条例で罰則を受けます。以上のように違法に薬物を所持使用すると条例や各々の法と薬事法、医療法やその他の法で厳しく罰せられます。薬物は正しく使用し、甘い誘惑に乘らず断る勇気を持ちましょう。

展示内容
1 模索のとき
2 文学への目覚め・師友との出会い
3 フランス留学
4 作家の軌跡
5 『深い河』
6 玉川学園での日々
7 様々な活動
8 受け継がれるメッセージ



町田市民文学館
開館一周年記念特別企画展
「遠藤周作とPauze」開催中
母なるものへの旅
文学館では、『沈黙』や『侍』『狐狸庵閑話』など数々の代表作を町田で執筆した作家、遠藤周作氏の没後11年目の回顧展を開催中です。若き日のフランス留学体験や、生涯にわたる母親との絆に焦点を当て、いまなお多くの読者を魅了して止まない「遠藤文学」の秘密に迫る企画展です。

電池モジュールの最大出力を乗じて得た額となりますが、20万円を限度額とします。

補助金の交付申請 住宅用太陽光発電システムの設置前に申請書を提出して下さい。既に設置しているもの及び工事に着手しているものは、補助対象になりません。申請書及び概要パンフレットは、環境保全課で配布しています。また、町田市ホームページからもダウンロードができます。環境保全課 ☎724・2711

甲州街道 小原宿本陣祭

参勤交代の大名行列（午後0時45分～2時15分）をはじめ本陣太鼓、大道芸ほか江戸時代の甲州街道のにぎわいを再現します。当時の情緒ある雰囲気を感じてみませんか。



日時 11月3日（祝）
午前10時30分～午後3時30分
雨天の場合、大名行列は中止。
会場 小原宿本陣
（相模原市相模湖町小原698-1）
交通 JR中央線相模湖駅から「桂橋経由三ヶ木」か「桂橋行き」バスで「小原」下車または同駅から徒歩15分
問 相模湖経済環境課 ☎042・684・3211（代）

見どころ
文才の一端を偲はせる小学校時代の文集や「大連新聞」に掲載された詩
今年三月に発見された遠藤氏あての大量の手紙や初著書『フランスの大学生』の自筆原稿
フランス留学中の日記や興味深い書き込みが残るフランス語の原書
留学時代に心を通わせたフランス人女性・フランスソワーズの手紙や関連資料
町田で代表作『沈黙』などを執筆した当時の机や椅子、愛蔵のル

オの絵画、など多数
会期 12月16日（日）まで
時間 午前10時～午後5時（入室は午後4時30分）
休館日 毎月曜日・第2木曜日
入館料 一般400円、大学生・65歳以上200円、高校生以下無料
頒布資料
「展示図録」B5判120ページ（頒価1000円）
「町田市民文学館蔵遠藤周作蔵書目録（欧文篇）光の序曲」A5判96ページ（頒価700円）
留学中に愛読したフランス語の文学書712点の書誌事項、書き込みなどを収めた蔵書目録
関連イベント
文学サロントーク
遠藤氏と親しかった方々をお招きして、作家の素顔を語っていただきます。
講師 写真家・稲井勲氏
日時 11月20日（火）午後5時30分～7時
定員 20人
費用 茶菓代500円
会場 町田市民文学館1階文学サロン
申し込み 直接または電話で市民文学館へ。
申し込み・お問い合わせ 町田市民文学館（原町田4・16・17、☎739・3420）